



# 研究だより 春号



## well-being につながる学び

～教科等の本質に迫る授業づくりを通して～

Ⅰ期 エージェンシーの獲得・発揮の手立て



令和5年11月24日、4年ぶりの参集開催となった光学園小中一貫教育研究発表大会では多くの方々に御参会いただき、学び多き充実した一日となりました。御参会くださった皆様に心より感謝申し上げます。

本学園の研究主題「well-beingにつながる学び」を実現するために、研究Ⅰ期ではエージェンシーを獲得・発揮させるための手立てについて研究を進めてきました。OECD（経済協力開発機構）では、エージェンシーを『変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力』と定義しています。附属光学園では、授業におけるエージェンシーを「当事者意識をもって、授業に参画する力」として捉え、小中一貫で、問い（思い）をつくる（もつ）こと、解決・表現方法を決めることの二つを共通の視点として授業づくりに取り入れてきました。

今回の研究だよりでは、研究発表大会当日の各教科等の授業実践についてお伝えします。

## 【国語科】

### じどう車ずかんをつくろう！ ～『じどう車くらべ』（光村図書 1年）～

自分たちで図鑑を作るために教科書の文を参考にするという場を設定しました。そうすることで、「しごと」と「つくり」があり、それらを「そのために」でつないでいること、多くある「つくり」の中から「しごと」に関係ある「つくり」を選ぶ必要があることなどの書き方に着目する姿が見られました。その学びを生かして、はしご車の紹介文づくりに取り組む際に、各々が必要だと思う「つくり」を選び、集中して作文する姿が見られました。

小学校1年 市川 景一郎



### この物語、一番の魅力とは何か？ ～『海の命』（光村図書6年）～

物語の魅力（＝面白さ）について、個人の感想から多面的に作品を考える場を設定しました。本時では、中心人物以外の登場人物の中で、「作品を面白くしているのは誰か」について話し合いました。太一が漁師を目指したきっかけとなった『おとう』、太一の生き方を変えた『与吉いさ』、太一を心配する『母』など、それぞれの登場人物が、どのように作品を面白くしているのか、叙述を基に自分なりの解釈を交えながら語る姿が見られました。

小学校6年 大塚 祐亮



### 結末の描写から物語のつながりを読む ～『星の花が降るころに』（光村図書1年）～

「なんだかもやっとする終わり方だ」「全然すっきりしない」という子どもの初読の気付きを基に、『私』が前向きになって一歩踏み出すという結末に納得するか」という判断型学習課題を検討する場を設定しました。子どもたちは、対象人物の設定意図や、視点人物の心情と情景描写の結び付きなどの視点から、結末につながるきっかけとなる言葉を探っていきました。僅かな言葉の違いにもこだわりながら、納得解を見いだそうとする姿が見られました。

中学校1年 貞安 菜央



### 論理の展開を吟味する ～『モアイは語る-地球の未来』（光村図書2年）～

イースター島の説明と、日本・地球の未来の話に着目し、「主張の説得力をより高めたのはどちらか」という判断型学習課題を検討する場を設定しました。子どもたちは、時系列に沿った事例の書き方や読み手に危機感を与えるような表現があることを共有し、その言葉が主張を伝えるためにどのように働いているかについて考えました。全員の意見を可視化することで、他者の考えに意思表示しながら問いを自分事として考えようとする姿が見られました。

中学校2年 田山 佳穂



## 【社会科】

### おいしい！安全！光市の水 ～水はどこから～

単元を通して、学習問題について調べてわかったことをホワイトボードにまとめる活動や、学習問題の達成度合いを振り返る活動を設けました。本時では、「なぜ、安全な水がいつでも大量に手に入るのだろう」という問いについて、まとめてきたものを基に話し合いました。子どもは、これまでの学びを関連付け、問いに対する考えを形成することができました。また、学習問題の達成度合いを振り返る中で、次時の課題を見つけ、解決するための見通しをもつことができました。

小学校4年 千々松 哲大



### 地球の一員として考える ～ヨーロッパ州～

単元を通して、EUの課題を見だし、自分たちで調べて討論する活動を設けました。本時では、「EUの今後はどのような形になればよいか」という問いについて、子どもはこれまでの学びや知識を生かして、EUの課題解決の方法について討論していました。また、EUモデルを世界に普及させることはできるか否かを考えることでさらに学びを深め、ヨーロッパの事例を元に、平和に貢献するために自分たちにできることを、地球の一員として考えることができました。

中学校1年 吉岡 友子



### 生活の維持・向上を目指すために ～わたしたちの生活と経済～

現代の日本における、物価上昇による賃金上昇の是非について討論する活動を通して、自身の不足している経済理論に関する知識を確認し、経済分野全体への見通しをもつことを単元のねらいとしました。本時では、経済の三主体である政府・企業・国民に対する課題意識を高めることで、現代社会における市場原理の矛盾に気付き、これからの日本経済のあり方、自己の生き方について考えを深める姿が見られました。

中学校3年 池田 幹太



### 合奏班・弦楽部の演奏 中学生の全校合唱



## 【算数・数学科】

### 時間を集めよう！ ～時こくと時間～

単元を通して日、時、分の関係を時計の模型や数直線などを用いて友達に説明する活動を設定しました。本時では、パズルブロックを集める・組み合わせることで、合計時間を求める活動を設定しました。子どもは、友達と伝え合う中で、グループで集めたたくさんのパズルブロックを同じ形で集めて合計時間を求めたり、1時間の形に組み合わせて1時間のかたまりがいくつあるかを数えて合計時間を求めたりと、主体的に時や分の関係を理解しようとする姿が見られました。

小学校2年 末弘 成孝



### 見る見る探検隊！あなたはどんな図形に見立てる？ ～およその面積と円の面積～

折り紙を切って分割し、敷き詰めてできた正十六角形の概形を円に見立て、別の形に敷き詰め直す操作活動を重点的に行うことで、既習の図形の面積の求積方法をいかし、円の面積の公式化につなげていきました。また、変革を自己認識できるように、解決の仕方を解決過程の前後で確認させる場を設定しました。本時において子どもは、長方形に見立てることで求積ができるという解決方法(新たな価値)に気づき、変革を認識していました。

小学校6年 山本 東建



### 証明をつなぐ ～三角形、四角形～

図中の三組の三角形から一組を選択し、選択した三角形の組が合同になる条件を見いだす活動に取り組みました。そこで見いだした条件から、「他の二組の三角形も合同になるだろうか」という問いをつくり、その問いを解決していきます。子どもたちは、一組の合同な三角形を基に、残り二組の三角形の合同も芽づる式に証明できることにおもしろさを感じていたようです。個々の証明方法を級友と伝え合う中で、「その証明はすごい！」と、歓声があがる様子が見られました。

中学校2年 竹坂 豊



### 図形の比見つ ～相似な図形～

子どもは、単元を通して図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解し、それを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめる活動をしてきました。本時では、基本的な立体についての相似の意味を理解するとともに、各々が制作した相似な立体を用いて相似比と面積比及び体積比との関係について考察する場を設定しました。そうすることで、見いだした関係から、相似な図形の性質を具体的な場面で活用していこうとする姿が見られました。

中学校3年 吉村 直樹



## 【理科】

### ピカッと発見！電気のひみつ ～電気で明かりをつけよう～

実験結果に責任もち、他者との考察を通して、よりよい結論を導き出そうとする姿を目指し、単元全体を通して、自分で予想を立て、その予想を確かめる方法を考えさせてきました。本時に至るまでも、子どもたち一人ひとりに、電気を通す物と通さない物の予想と、それを確かめる方法を考えさせました。自分で考えて、自分で決める場面を増やすことで、本時では、自分が立てた予想を確かめようと意欲的に実験に取り組む姿が見られました。

小学校3年 末花 昌之



### 流水の働きを解明！ ～流れる水のはたらき～

流れる水の働きについて、土地の変化を視点に、単元を通して、予想を基に実験方法を発想させたり、流れる水の速さや量などの条件を制御させたりしながら実験を行う場を設定しました。子どもは、予想を調べるために適切な実験方法を考えたり、前時の実験の反省点を踏まえ、実験方法を改善したりしながら、流れる水の働きについて見いだした問題を解決する姿が見られました。また、得られた結果や実験動画を基に、結果の妥当性を吟味する姿も見られました。

小学校5年 森 大樹



### 凸レンズによる像のでき方を調べよう ～レンズのはたらき～

凸レンズによってできる像と光源やスクリーンの位置との関係について、仮説を立て、それを検証するための実験方法を考えたり、実験をする中で方法を見直したりしながら探究活動を進めていきました。子どもは、班で仮説を発表し合い、それを検証する実験方法を検討し、映る像と光源やスクリーンの位置を調べました。実験中に方法の再検討を行い、得られた結果から自分たちの考えの妥当性を吟味する姿が見られました。

中学校1年 米村 崇



#### ～参会者からのアンケートより～

- ICT を効果的に用いて生徒の考えや発言を引き出していた。また、先生がうまくつながりを作り、ダイナミックな学びが見えた。(中1 国語)
- ダムや浄水場のことについて、伝え合う活動の中で、エージェンシーがしっかりと発揮されていて良かったと思った。ホワイトボードを使って、子ども中心で学びを進められていた点が勉強になった。(小4 社会)
- 意図的に困り感を生んで、その解決法を全体で考えるように仕組みされていたところがすごいと思った。ゲーム要素を授業に取り入れられていたおかげで、子供たちが楽しみながら学ぶことができたと思う。(小2 算数)
- 流れる水の働きについての実験を、自分が小学校の時は先生がやって見せてくれたが、今回は子どもたちがそれぞれ実験方法を考え、実践している姿が印象的だった。そして、最終的に結果やまとめが子どもたちの方から出ていたのが見えてすごいなと感じた。(小5 理科)

## 【体育・保健体育科】

### つくって ためそう ボール落としゲーム ～ネット型につながるボールゲーム～

バレーボールの挑戦課題である「ボールを相手コートに落とすことができるか、自分のコートに落とさせないことができるか」を視点に、単元を通して「どうすればこの運動が楽しくなるか」を工夫する活動を設定しました。子どもは、基となるゲームについて、コートの広さやボールを持って歩ける歩数を制限し、攻防をギリギリにする工夫をしたり、相手コートにボールを落とす・自分のコートにボールを落とさせない為の動きを見出し、試したりする姿が見られました。

小学校2年 木田 雅大



## 柔道

### ～固め技の攻防・インタビュー活動～

固め技の攻防において、相手の状況に応じた動き方を振り返るためのインタビュー活動を設定しました。インタビューに答える中で自分の動きを振り返り、改善していく姿が見られました。また、身体の使い方に迫るインタビュー内容を考えることで、自身の身体の使い方を振り返ることにもつながり、よりよい身体の動かし方について考える姿が見られました。攻防を楽しむために自分たちでルールを考え、審判や計時などの役割を果たそうとする姿が見られました。

中学校1年 今田 憲男



## 【音楽科】

### 歌の楽しさを探ろう ～グリーン グリーン～

題材を通して、学校生活の中で流れている音楽がどのような役割を果たしているのかを考えました。本時では、業間の始まりに「グリーン グリーン」が流れる理由を想像し、曲の表す気分と音楽の要素がどのように関連しているのかを話し合いました。明るく聞こえる理由として、弾んでいるリズムやサビの部分の音の高さが関係していることに気づき、それらを意識したり、強弱を考えたりしながら表現の仕方を工夫する姿が見られました。

小学校4年 藤原 由佳



### 一生忘れられない合唱にしよう ～忘れることなんかできない～

音楽を形づくっている要素を手がかりに、歌詞の中で印象に残るフレーズとその根拠など、互いの思いを伝え合う場を設定しました。そこで表出した思いをもとに歌詞と自分の人生を照らし合わせ、合唱で表現しました。子どもは、思い通りに表現するための練習方法を3年間の学びを振り返りながら自分たちで試行錯誤し、工夫しながら歌唱しました。本時の学びを通して、合唱することと人生の繋がり、音楽の存在価値、音楽と人との繋がりなどを語り合う姿が見られました。

中学校3年 白地 めぐみ



## 【図画工作・美術科】

### ドリームプロジェクト

#### ～廃材をアート作品に「捨てられた物にもう一度命を」～

単元の初めに、人々が幸せに暮らせる未来の町とはどんな町なのかについて思いや願いをもたせるために、ごみ問題の視点から自分たちの町について考える場を設定しました。本時では、「廃材×カメラ」でアート作品を作るという活動を設定しました。そうすることで、廃材がより輝いて見えるように、廃材を組み合わせたり、飾りや色をつけたりする姿が見られました。また、友達のアイデアを取り入れつつ、アレンジを加えていく姿が見られました。

小学校6年 荻内 俊輔



### 線で模様を構成しよう

#### ～線織面等によるデザイン～

前時に線織面の模様に取り組み、手がきで一本の線から様々な模様を構成することを学びました。本時では、線の構成を工夫し、模様を考える活動を設定しました。タブレットで線の模様を変更したり、色を変更したりしながら自分のイメージをつくりだしていく姿が見られました。また、自分で模様に規則性を見つけ出し、形を想定しながら模様を構成する中で、よりよいものを制作しようとする姿が見られました。

中学校1年 中村 賢太



## 【技術・家庭（技術分野）】

### お助けチャットボットを作ろう

#### ～双方向性のあるコンテンツのプログラミング～

生活や社会における課題を見だし、チャットボットを制作する目的と意図を明確にし、他者からの評価を基にプログラムを改善させる活動を設定しました。班員同士で意見を交換する中で、改善すべき点に気づいたり、班員のアイデアを参考にしたりしながら、制作するチャットボットの企画書の修正を行いました。これらの活動を通して、プログラミングにおけるユニバーサルデザインやデバッグのしやすさについて考える姿が見られました。

中学校3年 安森 智紀



#### ～参会者からのアンケートより～

- ボールの落とし合いというネット型の本質に迫る授業だと感じた。小学校低学年段階のボール遊びで本質に迫る体験を積むことで、今後のネット型に対する視点や思考がより深まると感じた。(小2体育)
- 教師が子どもに授業の進行を委ね、子どもが主体的に授業の道を選択していた。音楽は特に、子どもに委ねることで大きなリスクを伴うと思うが、子どもはしっかりと課題を見つけその解決のために取り組んでいた。(中3音楽)
- 廃材とiPadのカメラ機能を使って1つの作品を作り出すということで、子どもたちの柔軟で自由な発想によって、廃材が魅力的な作品へと変わっていったのがとても印象的だった。(小6図画工作)
- プログラミングを生徒が実際に活用している場面を見ることができ大変勉強になった。(中3技術)

## 【生活科・総合的な学習の時間】

### もっとえがおに！ ファミリー大さくせん ～じぶんで できるよ～

家族と自分との生活を「にこちゃん（笑顔）」にするための作戦を実行して、思ったことや家族の様子について友達と交流する場を繰り返し設定しました。はじめは、作戦を実行した感想から、もっと「にこちゃん」にするにはどうすればよいのかについて話し合っていました。交流の回数を重ねるうちに、家族が「にこちゃん」だと自分も「にこちゃん」になっていき、そうして「にこちゃん」がどんどん続いていくのだということに気付く姿が見られました。

小学校1年 徳永 真衣



### 室積に感謝し、盛り上げ隊

#### ～室積を盛り上げるために取り組んでいる人々や組織～

子どもが責任をもって自ら探究を進めていくことを目指し、単元を通して、「何を」「誰と」「いつ」など、視点を決めて計画を立てる場を設定しました。また、計画を立てる際の話合いの仕方について振り返る場を設定しました。そうすることで、本時において室積ツアーの宣伝方法を考える際、自ら視点を設定し、計画を立てる姿が見られました。話合いの仕方については、グループの話合いや反応について課題を感じ、全員の理解と納得を目指そうとする発言が見られました。

小学校6年 大塚 進真



### 自分のめざす姿は何か

#### ～総合の探究を自己の生き方につなげる～

子ども自身が興味・関心を基に決定した分野において、各自で探究する課題を設定し、探究の成果を振り返りながら、探究を通して得た学びをこれからの学習や生活、さらには自己の生き方に生かそうとすることを単元のねらいとしました。各自が取り組んできた探究を、ポスターやパンフレットにまとめ、本時ではそれらの成果物を振り返り、自分がこれから行いたいと考える探究を具体的に挙げながら、意見を共有する姿が見られました。

中学校3年 河村 拓哉



## 【道徳科】

### 許すことの尊さ

#### ～『銀のしょく台』（新・みんなの道徳5）～

毎時間、教材を読んだ後、感想や疑問を交流し、問いをつくる時間を設定しました。そうすることで、本教材で子どもは、「ミリエル司教はなぜ嘘をついてまで、ジャンにしょく台をあげて許したのか」という問いをつくりました。その問いに対して、ミリエル司教の行動の理由や許してもらったジャンの気持ちを話し合ったり、ミリエル司教の「広い心」と自分の心との違いを比較したりしながら、許すことの難しさについて考える姿が見られました。

小学校5年 池永 真依子



## 【外国語活動・外国語科】

### どれが ichiban? ～What do you like?～

単元の初めに、先生たちの好きな果物グラフの結果から、3年生全体で ichiban 調べをしたいという「想い」をもたせ、何の 카테고리でアンケートをとるかや、アンケートをとるために必要な英語表現は何かを子どもたちと決める活動を設定しました。そうすることで、単元を通して、自分たちで決めた計画を基に、主体的に学習に向かう姿が見られました。単元終末には、自信をもって、主体的に1組の友達と “What \*\* do you like?” と尋ね合う姿がたくさん見られました。

小学校3年 石津 友美恵



### 自分の『推し』を紹介しよう ～Who is your “ideal person” ?～

『推し友』を作るために、教師の『推し』の紹介文を参考にさせ、ペアやグループで『推し』の紹介文を複数回伝え合う活動の場を設けました。そうすることで、互いに相手の『推し』に興味を持って質問したり、自分や友達の紹介文のよさに気付いたりすることができました。その結果、友達の『推し』の魅力がよく伝わっている内容や表現を自分に取り入れたり、自分の『推し』への想いをいかに表現しようかと試行錯誤したりする姿が見られました。

中学校1年 井上 奈枝子



### 熱く語ろう！お題で問答 ～Which is better?～

自分の好きなものや興味のあることをスピーチのお題として考えさせることで、伝えたい気持ちを高め、共感してもらえるように他者意識をもってペアで伝え合い、質問やコメントで問答する場面を設定しました。さらに、ペアで複数回問答することで、自分や友達の発表のよさや改善点に気づき、他者理解を深めていました。各自がお題についてマッピングを基に文を考え、ジェスチャー等の工夫をして伝えたり、即興的に問答したりと主体的に活動する姿が見られました。

中学校2年 石川 美佐子



#### ～参会者からのアンケートより～

- 子どもたちがいきいきと活動しており、家族の役割を考えることを通して、well-being の視点を得ていた。子ども同士の意見交流が設けられていたが、その交流から生まれたアイデアや工夫が表出されると、他者との交流から well-being が生まれると感じた。(小1生活)
- 子どもたちの話し合う姿は、合意形成ある進め方で、レベルの高いものだった。(小6総合)
- 道徳科において、問いや解決方法を子どもたちが考える授業は初めて見たので、とても興味深かった。子どもたち主体で進んでいるようで、でもその中に、先生の的確な問い返しがあり、ねらいに迫っていったのが、well-being に向かっていると感じた。(小5道徳)
- 生徒の言いたいことにフォーカスされ、思いや意見を大切にしている授業だった。生徒は自分の「推し」を得意げに話すことで、英語を伝える自信につながっていたのではないかと思った。自ら伝えたい教材を仕掛けるのは、教師の大切なことだと思った。(中1英語)

～永田繁雄先生の御講演のアンケートより～

- これからの教育のあり方がとてもよく分かった。教師である我々がどんな意識で、どのように子どもと向き合うべきかが分かり、目の前にいる子どもたちとどんな学習をしていこうか、改めて考えていきたい。
- 子どもを信じ、子どもと教師が目標を共有し、変革を起こす力を身につける視点を与えていただいた。この「変革」と「優しい想像力」が well-being の鍵になることが整理できた。お互いの関わりの中で共同エージェンシーを築き、well-being を実現する過程について示唆を与えていただいた。

～全体の感想～

- 1日で3本の授業を見せていただき、大変濃密な時間となった。どの授業も提案性の高い授業で参考となる部分がたくさんあった。今回学んだことを今後の自己の授業にも積極的に取り入れていきたいと思う。
- 一人ひとりの先生方の研究や努力が見える素晴らしい授業ばかりであった。だからこそ、小中一貫校の特色や良さ、課題を意識した実践発表を期待したい。

## 授業づくり研修会のお知らせ

授業づくり研修会では、小・中学校のいろいろな教科の授業を見ることが出来ます。午前中は初任者研修対象の校長講話やフリー参観、午後は各教科の研究授業を参観し、協議会を行います。また講座によっては、授業のつくり方や単元構成のコツを聞いたり、大学の先生のお話を聞き、参加した人と意見交換をしたりすることが出来ます。皆様の御参加をお待ちしております。

- 対面開催を予定しています。開催方法や時間に変更になることがあります。
- 研修内容や申し込み等の詳細については、二次案内にてお知らせいたします。

光学園ホームページを御確認ください。

- 初任者研修対象を予定してる講座は以下の通りです。初任者研修対象の方は午前中から、一般の参加者の方は午後から御参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

	日時	教科等
第1回	6月18日(火)	国語科(小・中) 技術(中) 音楽科(小・中)
第2回	9月12日(木)	理科(小・中) 生活科(小) 総合的な学習の時間(小・中)
第3回	10月31日(木)	外国語科(小・中) 体育科(小) 保健体育科(中)
第4回	1月17日(金)	算数科(小) 数学科(中) 道徳科(小)
第5回	2月 3日(月)	社会科(小・中) 図画工作科(小) 美術科(中)

### 問い合わせ先

山口大学教育学部附属光小・中学校(光学園) 〒743-0007 山口県光市室積8丁目4-1  
小学校 TEL(0833)78-0124 FAX(0833)75-1507  
中学校 TEL(0833)78-0007 FAX(0833)75-1509

小学校 HP



中学校 HP



Instagram

